静岡県博物館協会会報
No.82

静岡の博物館

上原美術館　仏教館展示室

静岡県博物館協会

平成30年度　第１回講習会
上 原 美 術 館 の 視 察

日　時：平成30年10月17日（水）　10：00〜18：00
場　所：上原美術館（下田市）
参加者：16名
内　容：１）「仏教館リニューアルの概要」　田島整氏（上原美術館主任学芸員）
２）「コンサルタントの役割」尾崎文雄氏（StudioREGALO 主宰、建築コンサルタント）
３）「照明の設計思想」藤原工氏（灯工舎主宰、照明コンサルタント）
４）「展示ケース設計のポイント」山内佳弘氏（コクヨ株式会社ミュージアムグループ）
施設見学・質疑応答

本講習会では平成29年11月３日にリニューアルオープンした上原美術館の視察研修を実施した。

リニューアルにあたって、美術館という特殊性から建築会社との設計検討でコミュニケーションの壁にぶつかり、そしてこの問題を解決したカギがコンサルタントの存在であったという。

まず、田島整氏からリニューアルの概要について説明があった。今回、上原仏教美術館（昭和58年(1983)、大正製薬株式会社名誉会長をつとめた故・上原正吉・小枝夫妻の美術品の寄付により開館）と上原近代美術館（平成12年（2000)、同社名誉会長上原昭二氏のコレクション寄贈により開館）の２館をひとつにして上原美術館としてリニューアルオープンした。元々は2013年頃、上原仏教美術館の開館30周年を目処とした施設拡張と美術品保存環境の改善を目的としたリニューアル構想に端を発したものであったが、検討を重ねるうちに近代美術館もあわせて、一つの館としてリニューアルしていく方向となったとのこと。田島氏が「ふつうの」学芸員として「積み木のような」リニューアルプランを苦労して作り上げたわけだが、専門家の意見を聞きたくなって尾崎氏、藤原氏らに見てもらったところ、「何を作りたいのか？」「何が大切なのか？」「何がやりたいのか？」「何を展示したいのか？」という問いで返されたというくだりは、同じ学芸員としてグサリとささるものであった。

尾崎文雄氏からは、まずコンサルタントの役割について説明があった。例えば「掛軸を展示する」という行為ひとつとっても、字で表せば単純で、博物館・美術館の学芸員にとっては当然すぎるほど当然なことであり、学芸員同士であればそのイメージを概ね共有できるものであるが、この一言だけでは博物館を作る設計者、施行者である建築家には伝わらない。双方が使う言葉の違いにより食い違いが生まれ、望むものは生まれてこない。なので、双方の間を「翻訳業務」＝橋渡しの役割を果たすコンサルタントの役割が重要なものとなってくるということであった。

また、博物館・美術館という「空間」を作り上げていくときに、学芸員がやりたいことを学芸員自身が必ずしも認識しているというわけではなく、建築家としての視点からのアドバイスもしている。例えば「廊下」という学芸員はあまり好まない空間を、気持ちを切り換え、高揚感を高めるための空間としていくといった空間作りは、学芸員と建設会社だけで作ったときには生まれなかったであろう。他にも美術品を鑑賞するにふさわしい空間を考案し、また、後述する照明の専門家や展示ケースの専門家なども参画する体制とし、より質の高い空間を作り上げた。これらはコンサルタントならではの仕事といえよう。

藤原工氏からは照明コンサルタントとして光環境のリニューアルについて説明があった。今回、近代館は「邸宅の落ち着き」、仏教館は「お堂のような空間」というそれぞれ明確なコンセプトのもとにリニューアルを実施した。近代館ではフレキシブル性と間接照明によるディティールにこだわり、MoMAなどで使われている二重の光を組み合わせることで空間の明るさを担保しながら、作品のひとつひとつを際立たせつつ、キャプションなどの視認性も保持するという手法を取り入れ、必要なところに必要な光を当てながら、全体としては柔らかく落ち着いた空間を作るということにこだわったという。仏教館では、本来の仏教美術と光の自然な関係と光のディティール、ニュートラルであることにこだわり、仏像にどう光を纏わせるか、作品に光を「当てる」というよりも光が分布している状態を目指し、照明の技術で目指す空間を作り出すことに腐心したという。また、これは全くの私見であるが、「ホワイエ」の天井の照明はなんとも形容のしがたい不思議な照明で、これを観るためだけに脚を運ぶ価値がある。

山内佳弘氏からは展示ケース施工について「モックアップ」（実物大の模型）を作ることの重要性について説明があった。実物大の模型を作ることで、空調、照明など細かなところまで実験、チェック、確認を3度模型を作って実施したことで、短い工期でいいものを作ることができたという。

博物館・美術館のリニューアルを想定した時、自分がどこまでやれるのか、やりたいことが実現できるのかと考える学芸員は多いことだろう。しかし、学芸員は博物館の専門職であることを自認していても館の建築や設備に関しては素人であることが多い。にもかかわらず、学芸員に任されることが多いということもまた事実である。しかし、素人はどこまでいっても素人であり、やはり餅は餅屋というべきか、各分野の専門家たちの力を結集するとここまで素晴らしいことができるということを知れたのが、本講習の最大の成果であった。学芸員として博物館・美術館の新規開館や大規模リニューアルに立ち合える機会は現役中に一度あるかないかであろう。その機会に当たった時、学芸員として勇気を持ってコンサルタントの登用を進言したい。また、その際に「何をやりたいのですか？」と言われないように、折々考えておきたいものである。

最後に、今回のリニューアルにあたっては、当協会で毎年度実施している加盟館園対象の講習会を通じて生まれたつながりから、いろいろな人の助力を得られたことが大きかったという。得るものが多い当協会の講習会。今後も役立つ講習を目指して企画しますので、加盟館園のみなさま奮ってご参加下さい。

（沼津市明治史料館　木口亮）

仏教館　お堂のような空間で仏像を鑑賞できる

近代館　落ち着いた空間で絵画を鑑賞できる

平成30年度　第２回講習会
資料の取り扱いについて
～プロから学ぶ取り扱いの注意点とコンディションレポートの取り方～

日　時：平成30年12月12日（水）　13：00～16：00

場　所：浜松市美術館

参加者：26名

日　程：13：00　開場　受付開始

13：30　開会　スケジュール説明等

13：40　リニューアルサイトデモ（株式会社ノキオ）

13：55　講座「装潢資料取扱のチェックポイント」

講師：山口　聰太郎（株式会社墨仁堂・NPO 文化財を守る会）

14：45　休憩

14：55　作品・資料の取り扱いコンディションレポートの取り方

16：00　事務連絡・浜松市美術館新設トラックヤード見学

内　容：

第２回の講習会は、平成30年度、９月より半年間の休館を経てトラックヤードの新設・空調システムのリニューアルに伴い視察も兼ねて浜松市美術館を会場として行った。

今回は、株式会社山口墨仁堂（文化財を守る会）山口聰太郎（敏和）様をお招きして「装潢資料の取扱のチェックポイント」と題しご講義をしていただいた。

資料と実物を提示しながら表具の箇所の説明や本紙の破損状況の種類や対処の仕方などの説明は、文化財や美術品の取り扱いの初心者の方から日頃作品を扱う方までも興味深く学べるものとなった。

「作品は、まず、手に取って触れることが大切。それは、その作品のやわらかさを感じ伝えることである。」力強いこの言葉がすべてを物語っていた。そして、作品の『過去ではなく「今」を未来に残す』この修理にあたる信念からも作品の持つ時代背景や作者の想いを調査研究し真摯に作品に向かい合うことの重要性を再確認させられた。

元々、軸や屏風は損傷しないようにすぐに取り外しができ修理しながら大切に保存できるよう考慮して制作されていることも知り、作品の審美性だけを求めるのではなく昔の職人の想いも人の手により受け継いでいくことの大切さを学んだ。

講義後は、詳細な資料調書を作成するために作品に合わせた取り扱い方の注意点や、調書作成における破損の見つけ方などのレクチャーを受けた。各館園の調書やフォーマットなども提供していただき大変参考になった。それぞれの館の協力により、本物の美術品を使用したことで、作品のコンディションに合わせての対処の仕方や調書の取り方など、具体的な色や様子を肌で感じることができ職場に戻り直ぐに活かせる研修となった。

また、ウェブサイトのリニューアルについてノキオ様によるテキストサイトデモも実施された。来年度

役員会及び総会にて報告される。ウェブサイトが使いやすくなることで各館がさらに繋がりイベント情報や防災におけるネットワークづくりに進歩が見られることに期待が持てる。

今回の研修をとおして、行政機関や館園の皆さまのご参加により各館園での取り組みや課題についても情報交換を行うよりよい機会となりました。ご協力いただきました皆様に感謝申し上げます。

（浜松市美術館　袴田知恵）

講座　「装潢資料取り扱いのチェックポイント」

作品・資料の取り扱い　コンディションレポートの取り方

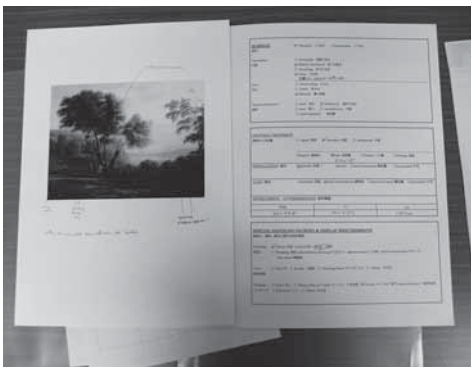
＜古書・軸の扱い方＞

＜土器の扱い方＞

＜洋画の扱い方＞

＜版画の扱い方＞

各館の調書・コンディションシート



静岡県博物館協会加盟館園 おもなイベント予定

（2019年４月～2019年９月）

※各館園提出の原稿によるものです。詳細については各館園におたずねください。

	博物館名・所在地・電話番号ほか	展　覧　会　・　行　事　・　そ　の　他
【東部】	**伊豆の長八美術館** 〒410-3611　加茂郡松崎町松崎23 TEL 0558-42-2540 FAX 0558-42-2573 http://www.izu-matsuzaki.com	企画展＝9／22～10／31「第20回全国漆喰鏝絵コンクール」、行事＝９／21「ナイトミュージアム」
	黄金崎クリスタルパーク 〒410-3501　賀茂郡西伊豆町宇久須2204-3 TEL 0558-55-1515　FAX 0558-55-1522 http://www.kuripa.co.jp/	企画展＝12／22～６／５「色のないガラスと色のあるガラス－光の造形」展
	池田20世紀美術館 〒414-0052　伊東市十足614 TEL 0557-45-2211　FAX 0557-45-2212 https://www.nichireki.co.jp/ikeda	企画展＝４／１～６／25「所蔵名品展あおいとき」、６／27～10／15「プレゼンス・存在　高木公史絵画展」
	公益財団法人国際文化交友会　月光天文台 〒419-0101　田方郡函南町桑原1308-222 TEL 055-979-1428　FAX 055-978-7601 http://www.gekkou.or.jp/	プラネタリウム春番組＝３／２(土)～５／26(日)「マヤ文明の天文学」、特別展＝世界のカレンダー2019：３／１～５／31、「水石・紋様石・姿石展」：３／15(金)～６／30(日)、定期観望会：４／６(土)、５／４(土)、昼間の金星観望会：４／20(土)、21(日)、５／18(土)、19(日)
	熱海市立澤田政廣記念美術館 〒413-0032　熱海市梅園町9-46 TEL 0557-81-9211 http://www.city.atami.shizuoka.jp	熱海市名誉市民で文化勲章を受章した彫刻家・澤田政廣（さわだせいこう1894～1988）の作品とコレクションを常設展示。木彫「銀河の夢」、「人魚」、「湖畔に立つ姫」、「蓮華」、「隠者」等。エントランスホールの天井を飾るステンドグラス「飛天」（直径５m）も必見。
	MOA 美術館 〒413-8511　熱海市桃山町26-2 TEL 0557-84-2511　FAX 0557-84-2670 http://www.moaart.or.jp	３／15～４／16 特別展「URUSI」伝統と革新・４／19～５／21 北斎漫画と「富嶽三十六景」・５／24～６／25 広重が描いた静岡「東海道五十三次を中心に」・６／28～７／16 特別展「第21回岡田茂吉賞展」・７／20～８／27 夏休み「井上涼展」(仮称)
	三島市郷土資料館 〒411-0036　三島市一番町19-3　楽寿園内 TEL 055-971-8228　FAX 055-971-6045 http://www.city.mishima.shizuoka.jp/kyoudo	企画展＝４／27～９／１「バック・トゥー・ザ・ミシママチ！」
	裾野市立富士山資料館 〒410-1231　裾野市須山2255-39 TEL/FAX 055-998-1325 http://www.city.susono.shizuoka.jp/kanko/6/3/3520.html	特別展＝７／13～12／１「富士山と万葉集を中心とした文学」、講座(自然・芸術)＝随時、企画展＝４／20～６／23「ふるさと富士山芸術展」
【中部】	**静岡市東海道広重美術館** 〒421-3103　静岡市清水区由比297-1 TEL 054-375-4454　FAX 054-375-5321 http://tokaido-hiroshige.jp/	企画展＝４／２～６／９「命の火・命の水」、６／11～８／18「江戸文様あそび」、８／20～11／24「由比本陣公園25周年記念　今昔東海道ステキション　同時開催:しずおか昔鉄道」
	東海大学海洋科学博物館 〒424-8620　静岡市清水区三保2389 TEL 054-334-2385　FAX 054-335-7095 http://www.umi.muse-tokai.jp/	４／６～５／６「変わりコイのぼり掲揚」、８／３～８／18「ふれてみてサメと海の生きものタッチプール」、８／５・６「サマースクール小５」、８／10～８／18・24・25「ナイトアクアリウム」

【西部】

博物館名・所在地・電話番号ほか	展　覧　会　・　行　事　・　そ　の　他
東海大学自然史博物館 〒424-8620　静岡市清水区三保2389 TEL 054-334-2385　FAX 054-335-7095 http://www.sizen.muse-tokai.jp/	４／６～５／６「変わりコイのぼり掲揚」、４／27～５／６・８／10～19「化石クリーニング体験」、５／３～４・７／27～28・８／３～4／「恐竜ナイトツアー」、８／８・９「サマースクール小６」
静岡県立美術館 〒422-8002　静岡市駿河区谷田53-2 TEL 054-263-5755　FAX 054-263-5742 http://www.spmoa.shizuoka.shizuoka.jp/	企画展＝４／２～５／６「屏風爛漫－ひらく、ひろがる、つつみこむ」、５／18～７／15「古代アンデス文明展」、８／２～９/23「熊谷守一　いのちを見つめて」
静岡市美術館 〒420-0852　静岡市葵区紺屋町17-1 葵タワー３Ｆ TEL 054-273-1515　FAX 054-273-1518 http://www.shizubi.jp	企画展＝４／６～５／26「小倉遊亀と院展の画家たち展」、６／８～７／28「メアリー・エインズワース浮世絵コレクション」、８／７～10／20「印象派への旅　海運王の夢　バレル・コレクション」
静岡市立芹沢銈介美術館 〒422-8033　静岡市駿河区登呂5丁目10-5 TEL 054-282-5522 FAX 054-282-5510 https://www.seribi.jp	企画展＝４／７～６／30「芹沢銈介の屏風」、７／14～11／24「暮らしを彩る―芹沢銈介の生活デザイン―」、12／10～３／22「芹沢銈介の収集品より芹沢が愛した椅子と木箱」
静岡市立登呂博物館 〒422-8033　静岡市駿河区登呂5丁目10-5 TEL 054-285-0476　FAX 054-287-1466 http://www.shizuoka-toromuseum.jp	企画展＝３／23～６／16 春季企画展「石をつかった、土器をつくった。－静岡市の旧石器・縄文時代－」、７／13～９／８夏季企画展「Fire!（仮)」
静岡市文化財資料館 〒420-0868　静岡市葵区宮ヶ崎102 TEL/FAX 054-245-3500 http://www.city.shizuoka.jp/000-002420.html	企画展＝４／27～５／26 静岡市歴史文化施設プレ企画展事業「生誕500年今川義元と駿府」(仮称)、秋から冬（２本） ミニ企画＝11／30～12／22 静岡浅間神社平成の大改修関連 その他の期間＝常設展
ふじのくに地球環境史ミュージアム 〒438-0022　静岡市駿河区大谷5762 TEL 054-260-7111　FAX 054-238-5870 http://www.fujimu100.jp	企画展＝４／６～５／26「ミュージアムキャラバン展」、６／15～８／25「伊豆半島　驚異の環境」、９／７～11／４「第２回　ミュージアム写真展」 コレクション展＝４／６～５／26「新収蔵品展2019」、６／15～８／25「伊豆半島展」
焼津市歴史民俗資料館 〒425-0071　焼津市三ケ名1550番地 TEL 054-629-6847　FAX 054-629-6848 http://www.city.yaizu.lg.jp/rekimin/index.html	企画展「なつかしの焼津　昭和×暮らし×道具」（２／１～５／19)、ゴールデンウィーク特別イベント（４／27～５／６)、新企画展（５／31～９／29)、５／21～５／30 展示替え・燻蒸のため休館
ふじのくに茶の都ミュージアム 〒428-0034　島田市金谷富士見町3053-2 TEL 0547-46-5588　FAX 0547-46-5007 http://www.tea-museum.jp	企画展＝４／20～７／７「茶箱、パッケージから見るお茶の未来」 イベント＝４／20～５／26 新茶フェア2019、５／10～５／12 世界お茶まつり2019（主催：第７回世界お茶まつり実行委員会）
掛川市二の丸美術館 〒436-0079　掛川市掛川1142-1 TEL 0537-62-2061　FAX 0537-62-2062 http://www..kakegawa-artpark.com	４／１～５／19「煙草入れ風流物語」、５／25～７／７「現代絵画コレクション二の丸美術館名品展」、７／20～９／１「見て、感じて、遊ぼう！ はんが遊園地―府中市美術館のゆかいな創作版画コレクションより―」、９／７～11／４「難攻不落の山城高天神城と江戸の華横須賀城」
資生堂アートハウス 〒436-0025　掛川市下俣751-１ TEL 0537-23-6122　FAX 0537-23-6640 http://www.shiseidogroup.jp/art-house/	企画展＝４／９～６／23「版画を楽しむ　木版・銅版・リトグラフ・シルクスクリーン」

博物館名・所在地・電話番号ほか	展　覧　会　・　行　事　・　そ　の　他
掛川市吉岡彌生記念館 〒437-1434　掛川市下土方474 TEL 0537-74-5566　FAX 0537-74-4841 http://www.city.kakegawa.shizuoka.jp/kankou/spot/art/yoshiokakinenkan.html	常設展＝～12／８「開館20周年記念掛川市吉岡彌生記念館コレクション」、特別展＝４／20～７／15「最先端泌尿器科診療―腎移植とロボット手術―」、講演会・イベント＝４／20「公開講座」、６／29「特別講演会」、７／27「夏休み親子医学講座」、８／18「夏のイベントデー」、９／21「健康セミナー」
磐田市香りの博物館 〒438-0821　磐田市立野2019-15 TEL 0538-36-8891　FAX 0538-39-0711 http://www.iwata-kaori.jp	企画展＝４／６～６／23「ルドゥーテ『美花選』とバラの香り展」、７／13～10／14「絵本と香り～こぐま社の世界～」
浜松市立賀茂真淵記念館 〒432-8036　浜松市中区東伊場町1丁目22-2 TEL/ FAX 053-456-8050 http://www.mabuchi-kinenkan.jp	平常展（前期）＝５／29～９／23「賀茂真淵の思想とその流れ」、親子てならい教室＝７／27・28、小中学生のための学習展＝８／６～25、歴史文化講座（６講座）６／７～森鷗外の人と文学他、アカデミー講座（４講座）６／11～古事記の歴史他、夏期講座（３講座）６／26～徳川家康と遠江他
浜松市美術館 〒434-0947　浜松市中区松城町100-1 TEL 053-454-6801 FAX 053-454-6829 https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp	企画展＝４／27～６／９「浜松市美術館リニューアル１周年記念　没後70年上村松園展」、特別展＝７／13～９／８「木梨憲武展 Timing－瞬間の光－」、企画展＝９／28～12／15「―奇跡の写実絵画―スーパーリアルワールド展」
浜松市博物館 〒432-8018　浜松市中区蜆塚4丁目22-1 TEL 053-586-2208 https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/hamahaku/	テーマ展＝４／20～７／１「天竜川平野のパイオニアたち」、７／13～９／16「商いのしるし」　イベント＝４／27～５／６「はまはくまつり」、７／22～８／25「夏休み体験館」
平野美術館 〒430-0942　浜松市中区元浜町166 TEL 053-474-0811 FAX 053-412-1808 http://www.hirano-museum.jp/	４／６～６／２「花鳥の彩り―近代日本画の精華―」、６／22～８／12「浮世絵版画の世界（仮）」、８／24～10／14「栗原幸彦展（仮）」、10／26～12／15「静岡の名宝展（仮）」
浜名湖体験学習施設　ウォット 〒431-0214　浜松市西区舞阪町弁天島5005-3 TEL 053-592-2880　FAX 053-592-1611 https://ulotto.entetsuassist-dms.com	４／６・７、６／８・９「写生大会」、４／19「飼育の日体験」、５／26「紙バンドクラフト工作」、６／23「プラバンキーホルダー工作」、７／20・27、８／15～17「ナイトウォット」、９／22「浜名湖親子釣り教室」 ※詳細はお問合せ下さい。
新居関所史料館 〒431-0302　湖西市新居町新居1227-5 TEL/FAX 053-594-3615 http://www.city.kosai.shizuoka.jp/	企画展＝１／３～５／19「描かれた関所」、GW 特別イベント＝関所メダカすくい・忍者や旅人に変身、パネル展＝７／９～９／１「まつり（仮）」、企画展＝９／３～11／10「海上交通と今切湊（仮）」

静 岡 の 博 物 館　No.82　　平成31年３月30日　　編集・発行　静岡県博物館協会
事務局　〒422-8002　静岡市駿河区谷田53-2　静岡県立美術館内　TEL 054-263-5857　FAX 054-263-5742